

韓国の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況
(2025年9月以降)

2025年12月11日時点
農林水産省動物衛生課

出典：韓国農林畜産食品部

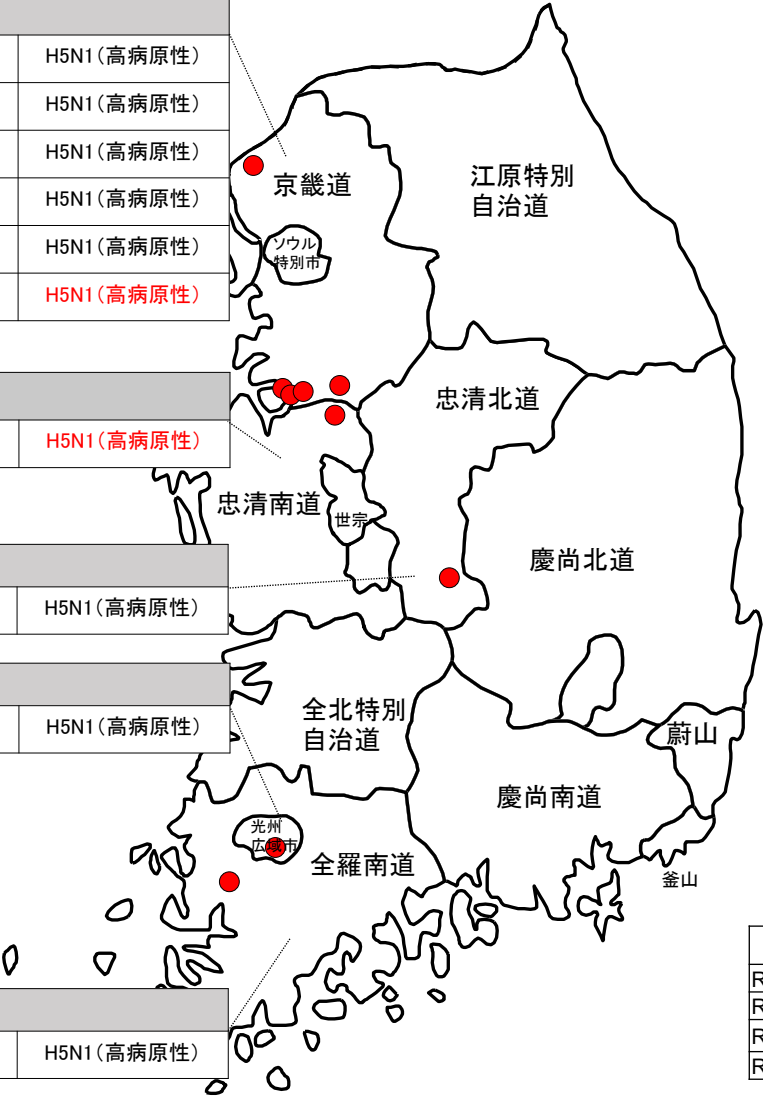
京畿道				
(1) 2025.9.12	坡州市	肉用鶏	3,100羽	H5N1(高病原性)
(3) 2025.11.9	華城市	肉用種鶏	19,000羽	H5N1(高病原性)
(4) 2025.11.14	平沢市	採卵鶏	135,000羽	H5N1(高病原性)
(5) 2025.11.16	華城市	採卵鶏	270,000羽	H5N1(高病原性)
(7) 2025.12.1	平沢市	採卵鶏	130,000羽	H5N1(高病原性)
(10) 2025.12.9	安城市	採卵鶏	26,000羽	H5N1(高病原性)

忠清南道				
(9) 2025.12.9	天安市	採卵鶏	33,000羽	H5N1(高病原性)

忠清北道				
(6) 2025.11.17	永同郡	種あひる	4,000羽	H5N1(高病原性)

光州広域市				
(2) 2025.10.21	南区	ガチョウ他	133羽	H5N1(高病原性)

全羅南道				
(8) 2025.12.8	霊岩郡	肉用あひる	20,000羽	H5N1(高病原性)



済州特別自治道

●：高病原性鳥インフルエンザ発生地点

高病原性鳥インフルエンザの発生状況(確定)

月	事例数	殺処分羽数(羽)
9月	1	3,100
10月	1	133
11月	4	428,000
12月	4	209,000
計	10	640,233

韓国の家きんにおけるHPAIの月ごとの発生件数推移

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
R4(2022)	0	3	24	29	7	6	2	4	0	0
R5(2023)	0	0	1	24	5	1	0	0	1	0
R6(2024)	0	1	4	14	12	4	8	4	1	3
R7(2025)	1	1	4	4						

(注)
・農林水産省にて発生報告ごとに累計(予防的殺処分等は含まず)
・事例数等は病原性が確定した事例のみ記載
・日付は症状が確認された日または検体採取日(赤字は更新箇所及び最新情報に基づいた修正箇所)
・N亜型未記載は、未公表又は未確定。
・低病原性鳥インフルエンザは、H5又はH7亜型であって高病原性鳥インフルエンザでないものを意味し、H9亜型等の鳥インフルエンザは含まない。
・韓国での表記によらずカモ科の家きんはすべて「あひる」としている。

(動物衛生課まとめ)